

定盤

石製マスター定盤

取扱説明書

「正しくお使いいただくために、必ずご使用前には、この取扱説明書をよくご覧の上ご使用ください。
またお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管して下さい。」



安全上のご注意

※ご使用の前に、この **取扱説明書** をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様への危険を未然に防止するためのものです。

※注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをした場合に想定される内容を **危険** **警告** **注意** の3つの区分にしています。

安全に正しくお使いいただくために	
この取扱説明書では、製品を正しくお使いいただき、お客様への危害や損害を未然に防止するために、本文中に色々な図記号や絵表示を示しています。 その表示と意味は、次のようになっています。 ● 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。 ● お読みになった後は、この製品をお使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。 ● 全て安全に関する内容ですから、必ずお守りください。	
 危険	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が生じる切迫の度合いが想定される内容を示しています。
 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性、或いは物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
図記号の例	 △ 記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを知らせるもので、図の中に具体的な注意内容が記載されています。 (左図は、特定しない一般的な危険・警告・注意の通告に使用)
	 ○ 記号は、禁止の行為であることを知らせるもので、図の中や下部等に具体的な注意内容が記載されています。 (左図は、特定しない一般的な禁止の通告に使用)
	 ● 記号は、行為を強制する内容を知らせるものです。 図の中に具体的な強制や指示の内容が記載されています。 (左図は、特定しない一般的な強制や指示に使用)

石製マスター定盤 取扱説明書

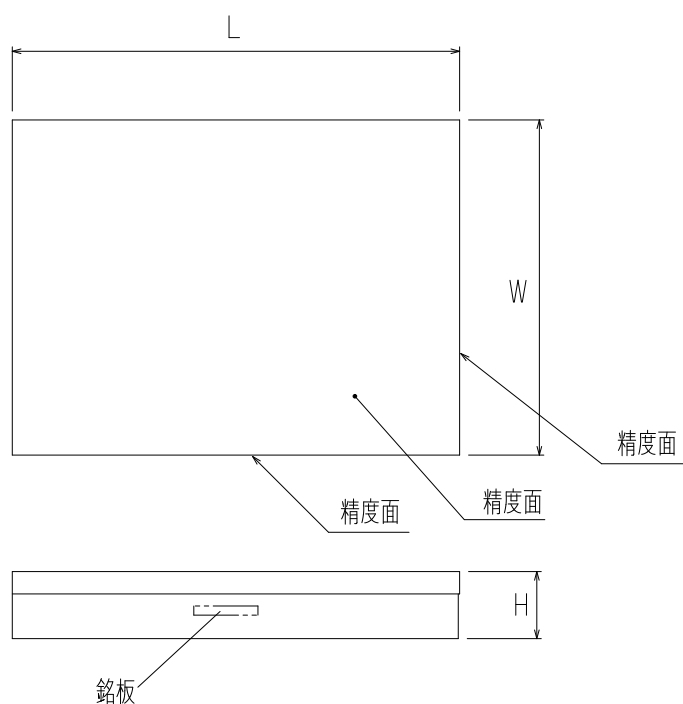
1. 製品の特長

- ・ 上面および2側面を高精度に仕上げた製品です。
- ・ 2側面の直角精度および真直精度が確保されているため、ダイヤルゲージを用いたワークの直角度・真直度などの検査に大変便利です。

※専用のダイヤルゲージスタンドは付属しておりません。

※角パイプを使用した専用架台の製作も可能です。

2. 各部の名称と姿図



3. 仕 様

コード No.	寸法 (L×W×H mm)	平面度 (μ m)	直角度 (μ m)	質量 (Kg)
BK101	600×600×125	4	2	130
BK102	750×500×125	5	3	138
BK103	1000×750×150	7	4	325
BK104	1000×1000×150	8	5	435

※本製品のみのご注文には、受皿及び調整ボルトは付属していません。

4. 設 置

【設置場所】

- ・ 温度変化、湿気の少ない場所。
- ・ 塵、振動の少ない場所。
- ・ 定盤等の重量で、ヒズミ、ネジレ等が生じない基礎のしっかりした場所。

◎高精度検査用定盤としてご使用の場合は、他の場所と縁切りしたところにコンクリートで設置台を作製して定盤を設置するか、又は縁切りしたコンクリートの床上に、定盤を堅牢で安定した構造の架台に乗せ設置してください。

【設置方法】

- ・ 安定した設置台に水平に設置してください。
- ・ 3点支持し水平状態であれば、精度は保持されます。
- ・ 定盤は、下図の通り左2点、右1点の3点支持（支持点）により設置して、調整ボルト又はレベリングブロック等により水平を調整してください。

※必ず3点で支持をし、転倒予防のため補助支持点2か所をご使用ください。

専用架台又はレベリングブロックでの設置をおすすめします。

調整ボルトの水平調整手順

- ① 全てのロックナットを緩め、補助支持点の調整ボルトを締め、3点支持にします。
- ② 図 a のように左側支持点の中央に水準器を置き、調整ボルトを回し水平にします。
- ③ 図 b のように本器中央に水準器を置き、調整ボルトを回し水平にします。

- ④ 上記②、③の手順を繰り返し行い、水平を調整してください。
 - ・水平調整で操作する調整ボルトは支持点の3つのみです。
 - ・調整中は補助支持点が接地しないようにご注意ください。
- ⑤ 調整ボルトが回らないように保持し、ロックナットを締めます。
- ⑥ 再度、水平がずれていないか確認してください。ロックナットを締めると水平がずれる場合がございます。
- ⑦ 水平調整後、補助支持点の調整ボルトを手で回し、転倒予防を行ってください。

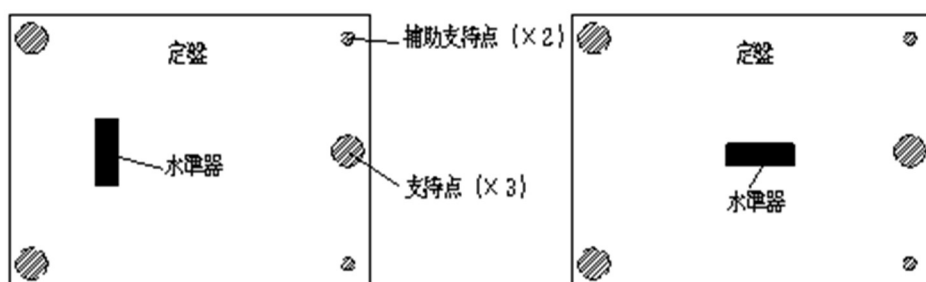
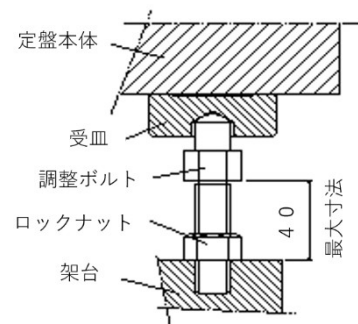


図 a

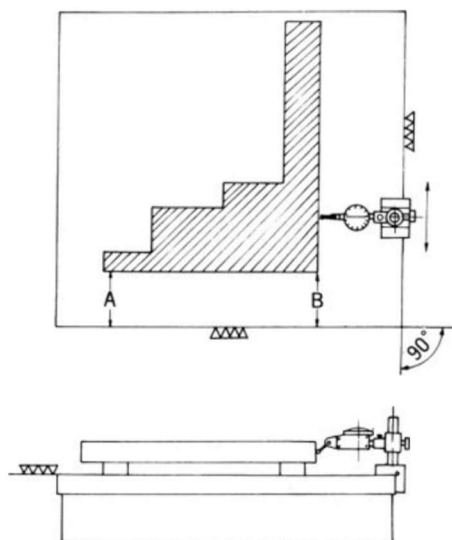
図 b



石製精密定盤

5. 使用方法

- ① 下図のように、ワークを定盤上に設置します。
- ② ダイヤルゲージスタンドを用いて、ダイヤルゲージの読み値が A 点および B 点でゼロになるようにワークを調整します。
- ③ その後、他方にダイヤルゲージスタンドを移動させ、ダイヤルゲージの読み値からワークの直角度や真直度を測定します。



6. 使用上の注意

- ① 使用前には、使用面及びワークの測定面をきれいにして下さい。
- ② 使用するときや保管時に本器に衝撃などを与えないよう注意して取り扱ってください。
- ③ 使用するところの温度になじませてご使用ください。
- ④ 温度変化の甚だしい場所等での使用や保管はしないで下さい。
- ⑤ 本器は、基礎がしっかりしており、ねじれや傾きの少ない安定した場所に設置してください。
- ⑥ 震動等のある場所に置かないでください。
- ⑦ 定盤に無理な荷重や衝撃などを与えないよう注意してください。
- ⑧ 定盤の使用面は、特定の箇所に集中して使用することを避け、全体を均等にご使用ください。
- ⑨ 傷等がある場合は修理・検査をおすすめします。
- ⑩ 以下のような場合には、本器の異常の有無を確認してから使用してください。
 - ・ 本器を落下させたとき。
 - ・ 本器上に物を落下させたとき。
- ⑪ 定期的に精度チェックをして使用してください。
- ⑫ 定盤上にワーク等を載せたままにしないでください。
- △ ⑬ 製品に鋭利な部分がある場合は、取り扱い時に指や体の他の部位を傷つけないよう注意してください。
- ⑭ 重量がある製品の場合、設置等は2人以上で作業をしてケガには十分注意してください。
- ⑮ 吊り用具は布製またはナイロンスリーブをご使用ください。金属チェーンやワイヤーなど硬質素材の吊り具を使用した場合、製品にキズや割れが発生し、作業者の体を負傷させるおそれがあります。
- △ ⑯ 必要に応じて保護手袋や保護眼鏡を着用して作業を行い、怪我を防いでください。
- △ ⑰ 損傷または劣化した本品を使用しないでください。怪我や事故の原因となる可能性があります。
- △ ⑱ 怪我が発生した場合は、直ちに応急処置を行い、必要に応じて医師に相談してください。

JIS 認証取得工場



株式会社 大菱計器製作所

OBISHI KEIKI SEISAKUSHO Co., Ltd.

本 社 〒940-1164 新潟県長岡市南陽 1 丁目 1216-1

工 場 TEL (0258) 22-1100 FAX (0258) 22-0014

東京営業所 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3 丁目 5 番地

TEL (03) 3293-8881 FAX (03) 3293-8884

名古屋営業所 〒460-0015 愛知県名古屋市中区大井町 3 番 15 号 日重ビル 2F

TEL (052) 322-4031 FAX (052) 322-5647



■本社・工場

■精密測定機器の設計・開発、製造ならびに校正サービス

(水準器、定盤、直定規、測定基準器、直角定規、ブロック、
ダイヤルゲージスタンド、コンパレーター、偏心検査器、直角度測定器)

ISO9001 認証

JQA-QMA11294